



## 平成28年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月5日

上場会社名 株式会社アサカ理研 上場取引所 東  
 コード番号 5724 URL http://www.asaka.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 慶太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 佐久間 良一 TEL 024-944-4744  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第1四半期の連結業績（平成27年10月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第1四半期	2,067	△4.7	62	76.6	43	4.9	46	84.9
27年9月期第1四半期	2,169	5.5	35	—	41	—	25	—

(注) 包括利益 28年9月期第1四半期 50百万円 (96.8%) 27年9月期第1四半期 25百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第1四半期	18.23	18.15
27年9月期第1四半期	10.01	9.93

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第1四半期	5,397	2,362	43.5	923.49
27年9月期	5,504	2,350	42.5	920.48

(参考) 自己資本 28年9月期第1四半期 2,347百万円 27年9月期 2,340百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年9月期	—	—	—	—	—
28年9月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年9月期の連結業績予想（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,200	△7.0	30	△79.3	8	△94.6	75	△38.4	29.50
通期	9,000	0.4	74	△64.9	35	△81.1	91	△27.7	35.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年9月期1Q	2,572,300株	27年9月期	2,572,300株
② 期末自己株式数	28年9月期1Q	29,908株	27年9月期	29,908株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年9月期1Q	2,542,392株	27年9月期1Q	2,505,068株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、政府および日銀による経済・金融政策を背景に、企業収益の改善や設備投資の増加が見られ、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方、世界経済の成長減速や地政学的リスクの高まりなどの影響により、先行きについては不透明な状況で推移しました。

当社の主要顧客の属する電子部品・デバイス工業分野においては、スマートフォンや自動車向けの需要により堅調な生産動向となっておりますが、中国の景気減速の影響から、このところ受注は減速傾向にあります。しかしながら、当期間での生産への影響は限定的で、当社の集荷への影響はありませんでした。

また、主力製品である金の価格は、米国の金融緩和縮小の影響により、ドルベースでの価格は下落傾向にあり、円安も一服したことから、当期間は下落基調で推移しました。

このような環境の中、当社グループでは、いわき工場における、レアメタル・レアアースリサイクル事業及びマレーシア子会社での貴金属事業の立ち上げに取り組んでまいりました。マレーシア子会社においては、リンギット安の影響により、円建てでの売上は減少となるものの、従前のスクラップの転売から、貴金属等の回収へと事業転換が進み、売上の構成が変化し、収支も改善しております。また、国内の既存事業についても、製造工程の自動化等によるさらなる効率化やコスト削減を通じて、企業体質の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間においては、為替の影響によるマレーシア子会社の外部売上減少や、環境事業の売上減少によって、売上高は、2,067百万円（前年同四半期比4.7%減）となりました。営業利益は、マレーシア子会社での収支改善等により、62百万円（前年同四半期比76.6%増）となりました。経常利益は、43百万円（前年同四半期比4.9%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、繰延税金資産が増加したことから、46百万円（前年同四半期比84.9%増）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりです。なお、各セグメントの金額については、セグメント間取引を含んでおります。

#### (貴金属事業)

当事業の主要顧客の属する電子部品・デバイス工業分野の生産は、当期間において堅調に推移しました。主力製品の金については、販売数量が増加し、販売価格も前年同期の水準を若干上回りましたが、その他の貴金属の販売数量は減少しました。また、為替の影響によりマレーシア子会社の外部売上が減少し、売上高は、1,872百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。セグメント利益は、マレーシア子会社の収支改善や製造の効率化によるコスト削減等によって、51百万円（前年同四半期比271.8%増）となりました。

#### (環境事業)

当事業の主要顧客の属する電子回路基板業界の生産は、低水準にとどまっており、電子回路基板向けエッチング液および銅ペレットの販売数量は、前年同期を下回りました。また、銅ペレットの販売価格も前年同期を下回ったことや、前期発生した商品のスポット販売の反動によって、売上高は、167百万円（前年同四半期比20.2%減）となりました。セグメント損益は、売上高の減少により、11百万円の損失（前年同四半期は26百万円の利益）となりました。

#### (その他)

その他に含まれるシステム受託開発事業、分析事業および運輸事業の売上高は、28百万円（前年同四半期比111.2%増）となり、セグメント利益は、3百万円（前年同四半期比89.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(資産の部)

前連結会計年度末に比べて107百万円減少し、5,397百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金が71百万円、たな卸資産が27百万円減少したことによるものです。

(負債の部)

前連結会計年度末に比べて119百万円減少し、3,034百万円となりました。

主な要因は、借入金が増加し、社債が180百万円、賞与引当金が49百万円減少したことによるものです。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べて12百万円増加し、2,362百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が8百万円、非支配株主持分が4百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期（平成27年10月1日～平成28年9月30日）の業績予想について、本日（平成28年2月5日）修正発表しております。詳細については、本日発表の「特別利益の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,231,290	1,159,772
受取手形及び売掛金	314,690	321,284
商品及び製品	393,890	314,571
仕掛品	206,278	238,999
原材料及び貯蔵品	59,002	78,493
繰延税金資産	44,684	30,324
その他	143,010	153,844
流動資産合計	2,392,847	2,297,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,114,556	2,079,829
減価償却累計額	△888,734	△903,964
建物及び構築物(純額)	1,225,821	1,175,865
機械装置及び運搬具	2,192,904	2,192,452
減価償却累計額	△1,845,194	△1,855,279
機械装置及び運搬具(純額)	347,710	337,172
土地	1,206,024	1,205,636
リース資産	46,100	46,100
減価償却累計額	△41,463	△42,501
リース資産(純額)	4,636	3,599
建設仮勘定	24,811	42,310
その他	181,798	183,463
減価償却累計額	△160,952	△158,763
その他(純額)	20,846	24,700
有形固定資産合計	2,829,850	2,789,284
無形固定資産	23,657	22,914
投資その他の資産		
投資有価証券	56,549	56,530
退職給付に係る資産	78,904	86,939
その他	122,776	144,500
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	258,197	287,938
固定資産合計	3,111,705	3,100,137
資産合計	5,504,552	5,397,427

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	135,923	148,233
短期借入金	807,904	991,496
1年内償還予定の社債	210,000	60,000
リース債務	3,484	2,656
未払法人税等	15,506	2,626
賞与引当金	86,135	36,435
その他	299,513	325,807
流動負債合計	1,558,469	1,567,255
固定負債		
社債	250,000	220,000
長期借入金	943,666	879,672
リース債務	1,045	784
繰延税金負債	127,674	101,894
長期未払金	223,574	215,059
資産除去債務	49,901	50,125
固定負債合計	1,595,862	1,467,537
負債合計	3,154,331	3,034,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,295	504,295
資本剰余金	351,422	351,422
利益剰余金	1,496,169	1,504,380
自己株式	△16,423	△16,423
株主資本合計	2,335,463	2,343,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,813	14,783
為替換算調整勘定	1,435	△109
退職給付に係る調整累計額	△11,486	△10,468
その他の包括利益累計額合計	4,761	4,205
新株予約権	3,731	3,731
非支配株主持分	6,264	11,023
純資産合計	2,350,220	2,362,635
負債純資産合計	5,504,552	5,397,427



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
売上高	2,169,525	2,067,565
売上原価	1,808,689	1,681,671
売上総利益	360,836	385,894
販売費及び一般管理費	325,594	323,670
営業利益	35,241	62,224
営業外収益		
受取利息	6	15
受取配当金	65	84
受取賃貸料	2,266	2,119
受取保険金	—	6,672
為替差益	14,887	—
その他	852	3,542
営業外収益合計	18,077	12,434
営業外費用		
支払利息	8,745	6,567
為替差損	—	22,351
その他	2,821	1,930
営業外費用合計	11,567	30,849
経常利益	41,751	43,808
特別利益		
固定資産売却益	165	—
新株予約権戻入益	364	—
特別利益合計	529	—
特別損失		
固定資産売却損	107	14
固定資産除却損	72	55
特別損失合計	180	70
税金等調整前四半期純利益	42,100	43,738
法人税、住民税及び事業税	369	464
法人税等調整額	18,346	△8,860
法人税等合計	18,716	△8,395
四半期純利益	23,384	52,134
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,680	5,788
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,065	46,345

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	23,384	52,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,101	△30
為替換算調整勘定	503	△2,573
退職給付に係る調整額	695	1,018
その他の包括利益合計	2,301	△1,585
四半期包括利益	25,686	50,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,165	45,788
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,478	4,759

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計
	貴金属事業	環境事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,946,808	209,445	2,156,254	13,271	2,169,525
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	35,038	35,038
計	1,946,808	209,445	2,156,254	48,310	2,204,564
セグメント利益	13,875	26,063	39,939	1,812	41,751

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム受託開発事業及び運輸事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計
	貴金属事業	環境事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,872,371	167,169	2,039,540	28,025	2,067,565
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	32,384	32,384
計	1,872,371	167,169	2,039,540	60,409	2,099,950
セグメント利益又は損失 (△)	51,592	△11,212	40,380	3,428	43,808

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム受託開発事業、分析事業及び運輸事業であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。